

市議会だより さつて



議会報告会

6月定例会のおもなことから

- ・平成28年6月定例会議案……………2～3ページ
- ・議会報告会の報告……………4ページ
- ・各常任委員会での審議……………5～6ページ
- ・市政に対する一般質問……………7～14ページ
- ・所管事務調査等……………15ページ
- ・議決結果の一覧、編集後記……………16ページ

No.79
2016年
8月

市立第二保育所建設工事 幸手小学校大規模改修着工へ

工事請負契約を議決

工事概要

建築面積 1154㎡
延床面積 986㎡
鉄骨平屋建て
児童入所定員 120名
工期 平成29年3月
契約金額
3億8599万920円
工事請負業者
斎藤工業株式会社

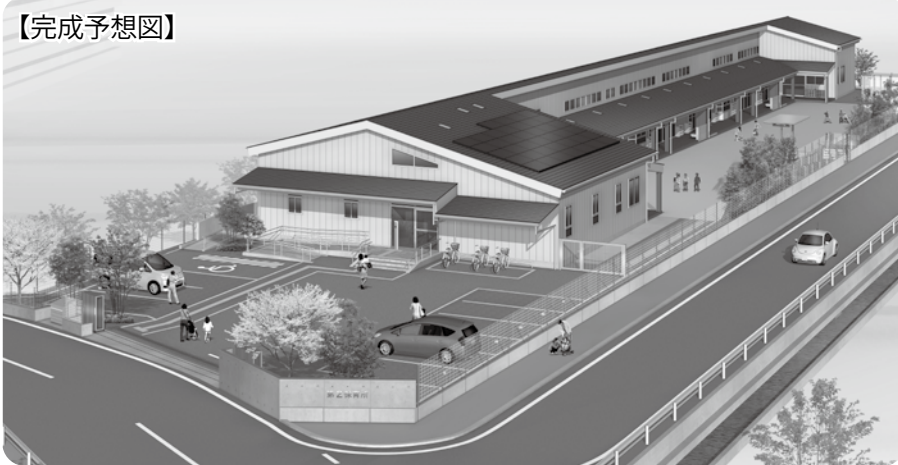
昭和48年に建設され老朽化が著しかった第二保育所が、このほど平成29年度の開設を目指し、市内大字吉野地内に新築されることになり、工事請負契約が議決されました。
子育ての拠点施設として一日も早い完成が待たれます。
なお、工事の主な概要は左表のとおりです。

市立第二保育所

6月定例会

平成28年6月定例会は、6月1日から6月24日までの24日間の会期で開かれました。
市長提出議案として、専決処分の承認を求めることについて8件、条例2件、工事請負契約の締結について2件、補正予算1件の13議案が提出されました。また、7件の報告がなされました。
更に、議員提出議案として決議案1件が提出されました。
審議の結果、いずれも原案のとおり、承認、可決されました。

【完成予想図】



市内小学校のなかで、最も早く鉄筋コンクリートにより、昭和43年に建設され、築後約50年を経過しようとしている幸手小学校の改修工事が、この夏休みを中心に行われることが決まりました。



幸手小学校
改修工事
2億5300万円

- ① 屋上防水改修工事
- ② 外壁改修工事
- ③ 内部改修工事
- ④ 給水管更新工事
- ⑤ 防火シャッター更新工事
- ⑥ インターホン設置工事
- ⑦ 受変電設備更新工事
- ⑧ トイレ改修工事
- ⑨ その他関連工事

工期 平成28年10月

工事請負業者

和光建設株式会社

安全な学習環境が整備されることが期待されます。



済生会栗橋病院の現行存続を求める決議

社会の高齢化は年々進み、今や本市に於ける高齢化率も30%を超え、今後も更に少子高齢化が進行することは明らかであります。この様な中で長寿健康社会の構築が、市民にとってもまた地方自治体にとっても、喫緊の大きな課題であります。その中核をなすものが地域医療の医療機関であります。

済生会栗橋病院は、現在地に平成元年開院以来、埼玉県東北部の中核医療機関として、更には、埼玉県災害拠点病院の指定を受け、また、地域救急センターを開設するなどされ、大きな役割を果たされてきました。殊に、本市に於いても、直近1年間に、一般診療3943人、入院397人、計4340人に及ぶなど、多くの市民の医療を通して、命と健康と安心が確保されてまいりました。

こうした中で済生会栗橋病院の急性期疾患に対応する医療機能についての移転計画が明らかにされました。本市にとりましても、多数の市民が現在利用されている極めて重要な医療機関であり、一部の移転計画とは言え、市民に大きな不安と動揺を与えております。

我々地方自治体の最大の役割である、市民の命と健康と安心を守る立場からも、済生会栗橋病院が、是非とも現行通りの診療機能を維持され、公的病院として、また、地域の中核病院として現行通り存続され、更なる充実発展されますよう心よりお願い申し上げます。

以上決議する。

平成28年6月24日

幸手市議会

済生会栗橋病院の
現行存続を求める決議

全会一致で可決

済生会栗橋病院の移転計画が公表され、市民の命と健康を守るうえで、重要な医療機関であることから、左記の議員提出決議案が全会一致で可決され、社会福祉法人恩賜済生会など関係機関に提出されました。

初の幸手市議会報告会開く



5月22日(日)幸手市役所第二庁舎において初めての議会報告会を開催しました。
 3月定例会で審議した平成28年度一般会計・特別会計予算ほかなどを、総務・文教厚生・建設経済・都市公園等指定管理業務調査特別委員会の各委員長が報告しました。
 当日の参加者は46名で質問・意見交換・アンケートを実施しました。

アンケート結果(一部抜粋) 回収率80.4%

- 性別 男…27人 女…10人
- 年齢 20代以下…0人 30～40代…2人
50～60代…14人 70代以上…21人
- 議会報告会の開催について
評価する…19人 どちらとも言えない…5人
評価しない…7人 未回答…6人
- 説明の内容について
わかりやすかった…1人 どちらとも言えない…13人
わかりにくかった…17人 未回答…6人
- 開かれた議会について(議会の情報公開について)
開かれている…4人 どちらとも言えない…23人
開かれていない…8人 未回答…2人
- これまでに議会を傍聴したことがありますか
ある…26人 ない…11人
- 議会のインターネット中継をご覧になったことがありますか
ある…14人 ない…23人

- 参加された理由
 - ・議会基本条例を制定後、初めての報告会のため
 - ・市政について理解したい
 - ・市の現状を把握するため
 - ・どのような報告か聞きたい
 - ・議会が市のために機能することに期待して
 - ・勉強のため
 - ・市民本位の市政運営と議会活動状況
 - ・議員が市民の意見を市政に反映したのか聞きたい



幸手市議会基本条例の解説

第11条(市民参加)では、議会は、議会として決定したことに対する説明責任を果たし、市民の意見の聴取、意見交換の場として、議会報告会を開催することを定めています。

この議会報告会では、議案等の審査経過や結果等を市民に報告します。

今回の議会報告会に参加者から多くのご質問や貴重なご意見を頂戴いたしました。
 いただいたご意見等は、今後の施策に反映できるよう、全議員で情報の共有を図ってまいります。

総務常任委員会

平成28年度幸手市一般会計補正予算 (第1号) (議案第51号)

問 地方創生加速化交付金の申請に至った経緯と内容は。

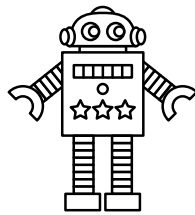
答 埼玉県企画財政部地域政策課から、本年の1月22日付けで1次募集の通知があり、3月18日に結果が記者発表され不採択になったが、4月8日付けの文書で2次募集の通知が埼玉県から各市町村に出されたため、庁内検討を行って決定したものである。

まず、4月26日までに事業の素案を作成して、国からアドバイスももらえる事前相談の機会を得て本申請を6月10日にしたので、今申請をしている段階の状況である。その決定については、具体的な日時は示されていないが、1次募集のときのことを踏まえると、約1ヶ月後に分かる想定である。また、交付金の補助率は10分の10である。

問 おもちゃドクター謝礼について

て、おもちゃドクターは、ボランティアで行っているのか、それとも市で補助金を出しているのか。

答 現在の定期的な活動は、児童館で毎月第4土曜日の午後1時から4時まで、ボランティアで行っている。



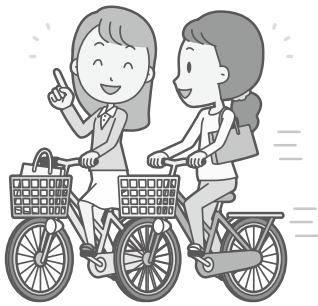
問 おもちゃドクターが地方創生加速化事業として採用された場合、単年度で終わるのか。

答 今回のこの地方創生加速化交付金については、取り組みのためのかきつけづくりである。実際に採択された時には、事業を行っていく中で継続性を見出して、発展させていきたい。

ボランティア等で手伝ってもらえるのか、あるいは今度は活動時間が増えるので、その増えた部分については報償を払っていくかは今後の中で協議していく。

問 地方創生加速化事業の考え方は。

答 今回の加速化交付金について発端は行政が取っかかりになると思うが、やがてその自治体の事業主体になってくる民間事業者なりが自立して継続的にやっていかなければならない。補助金なしで自立的にやっていくというのを踏まえたものなので、今回の事業の観光資源については、何か新しい食材を開発し、何かグルメ、食というものを一旦は行政で仕掛けるが、それが市内に定着し、幸手市の中の回遊性、町内の中に食というものでお客を呼び込めるぐらいになるようなことを想定している。



問 第19節負担金のうちの幸手宿うまいもんまつり事業補助金について、補助団体はどこか。

答 幸手宿うまいもんまつり事業を実施する団体と考えている。

子育てについても、ボランティアの育成から始まり、おもちゃドクター等を養成して、民間でも子育ての体制を町ぐるみでとれるようなものを目指していきたい。

問 おもちゃ広場とは。

答 良いおもちゃに触れる場と時間を提供することを目的として、児童館やウエルス幸手に開催する予定である。認定NPO法人の日本グッド・トイ委員会の協力を得ながら、委託で行う。

問 木のおもちゃをメインに考えているのか。

答 木育という木のおもちゃに多く触れてもらうことを考えている。



文教厚生常任委員会

幸手市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
(議案第48号)

問 この改正は、建物4階以上に保育室を設ける際の、避難用の室内階段の用件を改正するものであるが、市内には該当する保育室はあるのか。

答 市内には、建物4階以上の保育室はない。

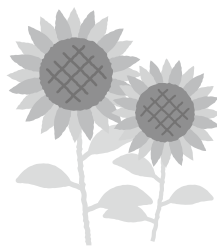
問 ^{*}小規模保育事業所A型とB型の違いは。

答 A型は保育所の職員の全てが保育士で、B型は保育所の職員の2分の1以上が保育士と決められている。

問 市内には、A型とB型の小規模保育事業所はあるのか。

答 A型は今年4月に1か所開設され、B型はない。

※小規模保育事業所とは、0～3歳未満児を対象とした、定員が6人以上19人以下の少人数で行う保育。



工事請負契約の締結について (議案第49号)

(第二保育所建設工事)

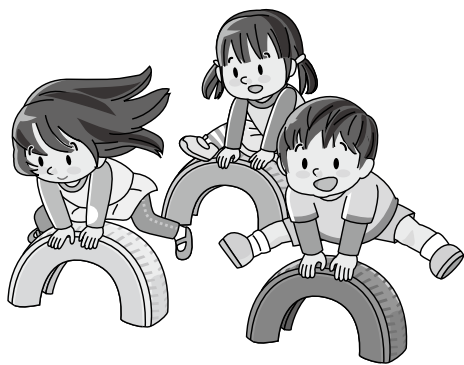
問 入札の際、事前に最低制限価格が分かっているなければ、もっと競争の原理が働いて、競争した結果が出たのでは。

答 今回の入札は事前公表となり、ほとんど事業所が最低制限価格で応札し、くじ引きとなった。

これが事後公表となれば、場合により、1回目入札で決まらない可能性や落札額が最低制限価格よりも上回る可能性があったと考えている。

問 今回の電子入札システムへの入力について、今後に向けて検討や精査したことは。

答 1月から要綱が施行となり、今回の幸手小学校と第二保育所が第1号という認識があり、担当課は事前に準備を進めていたが、マニュアルが読み切れなかった。なぜだめだったのか検証をきちんとした上で、その原因がわかり、今後ミスがないように、マニュアルに手書で注意事項を付加するよう指示した。



工事請負契約の締結について (議案第50号)

(幸手小学校校舎大規模改修工事)

問 幸手小学校では以前に、トイレを和式から洋式への改修工事を実施しているが、今回の工事との関係は。

答 今回の工事は、トイレの天井、壁の張り替え、床を乾式にして衛生的な床に張り替える。その他大部分を洋式便器に変更する。



問 この入札に関する問題の性質、および対処の仕方については議案第49号と同じか。

答 成り立ちは先ほどの第49号と全く同様である。また、同様に対応していきたい。

市政に対する

一般質問

今定例会では、14人の議員が6月2日、3日、6日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

宮杉勝男議員

- 健康の保持・増進と生涯スポーツについて

小林啓子議員

- 「祖父母手帳」の作成について
- セカンドブックスタート事業について
- 「読書通帳」の導入について
- 防災対策について

本田謡子議員

- 福祉避難所について
- 子どもの貧困と「子ども食堂」について

藤沼貢議員

- 幸手駅西口の開設と駅舎および自由通路の整備について

大山重隆議員

- 要介護となる高齢者が増え続け、介護費用（市負担）も年々大きくなっている
- 介護行政において包括ケアシステムの構築が急務である

巻島幸男議員

- 県道惣新田幸手線の臨時対応について
- 水害対策について
- 就労人口の減少について
- 駅舎建設に対する費用対効果について

小林順一議員

- 児童虐待の実態について
- 空き家適正管理化について

青木章議員

- 東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致について
- 下水道について
- 幸手市制施行30周年記念事業について

大平泰二議員

- 駅東西口自由通路
- 民間駅橋上化建設費市負担問題
- 重点プロジェクト
- 地域医療問題

松田雅代議員

- 「さってアフタースクール」の運用について
- 災害対策の新たな課題について
- デマンド交通の利便性向上と幸手市公共交通の今後について

小河原浩和議員

- 空き家条例制定後の現状と問題について

木村治夫議員

- 常備消防の充実について
- 県立権現堂公園の整備について
- 信頼のある人材育成について

中村孝子議員

- 重点プロジェクトについて
- 災害問題について

武藤壽男議員

- 財政状況、諸事業に対する市長の認識について
- 西口区画整理事業、自由通路事業、駅舎整備事業に対する市長の見解について

健康の保持・増進と生涯スポーツの推進策は



宮杉勝男議員

Q

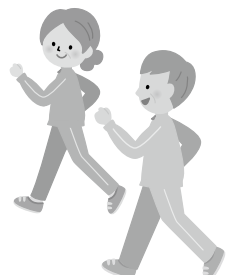
(1) 行政が幸手市内の高齢者に対して、健康寿命を増進させるために生涯スポーツをどのような形で推進しているか具体的な答えを求めます。
(2) 健康寿命を増進させることにより医療費の削減に繋がると思いますが、現在幸手市内において比較的多くの方が行っているグラウンドゴルフをもっと盛ん

A

(1) 健康福祉部では、毎日1万歩運動教室の開催や体操の指導者派遣等を行っている。また、ウォーキングマップも作成する。教育委員会では、ふれあいスポーツ塾を実施している。高齢者がスポーツを通じて

健康保持・増進に取り組みむとともに、生きがいづくりや仲間づくりができるように支援している。

(2) グラウンド・ゴルフは、幸手市の人口の約1割の方が行っているスポーツ。今後、グラウンド・ゴルフ協会と相談しながら考えていきたいと思う。
(市長・健康福祉部長・教育次長)



「祖父母手帳」の作成は



小林啓子議員

Q

世代間の子育てに対する違いから、さいたま市では、本年1月より「さいたま市祖父母手帳」を希望者に配布し、好評である。
幸手市としても作成したらどうか伺う。
また、幸手市のホームページや幸手市広報に「孫育て」のサポート内容を掲載してはどうか

A

「祖父母手帳」は、父母世代と子育て中の親世代との孫育て・子育てに関する情報共有やコミュニケーションに役立つものと考えている。祖父母世代の



孫育てに関する取組みとして、平成28年度中に情報収集等を行い、作成に向け「祖父母手帳」の研究をする。また、孫育てのサポート内容の掲載については、広報紙・リーフレット・ホームページ等により、子育てや孫育てに関する情報の提供を充実させたいと考えており、その内容や掲載方法も含め検討する。
(健康福祉部長)

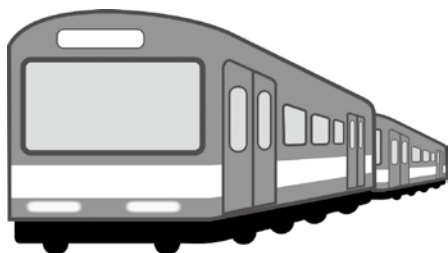


藤沼貢議員

駅橋上化および自由通路整備事業は

Q 駅橋上化および自由通路整備事業、そして、西口土地区画整理事業等は重点プロジェクト資金計画財政収支の予測として、実施計画年度と、これに伴う財政計画が示されたが、財政収支については、財政規律を遵守し計画にそった事業が実施できるのか市長に伺う。

A 重点プロジェクト事業の見直しに伴い財政収支予測の更新を行った。あくまで現状の経済情勢による試算であるが、平成35年度までの試算の結果、平成29年度から31年度までは基金を取崩さないと収支に不足が生じるものの、一般単独事業債による対応、また、平成32年度以降の事業費の見直しにより、収支は成り立つ試算である。今後、国等の状況、財政規律の確保に十分に注視し、市民の



(市長)

皆さんの生活に影響がないように事業に取り組んで行く。



本田謡子議員

災害時、福祉避難所は機能するのか

Q 福祉避難所とは、一般の避難所では生活が困難な高齢者や障がいを持った方々や乳幼児などに対して、特別な配慮をする避難所である。市は、なのはなの里・さくらの里・老人福祉センターを指定している。市は、特別な配慮を必要とする方々を守るため、早急に福祉避難所開設訓練の意向はあるのか。

A 当市の福祉避難所は、平成27年2月に3ヶ所指定した。福祉避難所は、一般の避難所とは違い、災害時において、特に配慮や支援を必要とされる方のために開設される「二次的避難所」である。福祉避難所開設訓練は、今後、

また、福祉避難所ならではの備蓄や医療機関との連携はあるのか伺う。

職員災害時初動訓練に合わせて実施したい。
また、簡易ベットや吸引器などの備蓄も少ないことから充実させるとともに、福祉避難所の運営については、医療機関や社会福祉施設と連携を図っていく。

(健康福祉部長)



介護予防と在宅医療・看護介護体制の充実を



大山重隆議員

Q 介護予防（骨粗鬆症、転倒、認知症等）に重点的に取り組む事が、健康寿命を伸ばし、財政の健全化に有効であると考えるが、その取り組みを伺う。

地域包括ケアシステムの実現には、在宅診療（往診）体制の充実と、在宅介護・訪問看護体制の整備が両輪となる。その進

捗状況を伺う。

A 介護予防の重要性は財政の健全化からも十分認識している。骨粗鬆症の検診や介護予防教室の実施、ロコモティブシンドロームの周知などを行っており、今後も充実をさせる。

在宅診療については、埼玉県により基金を活用した取り組みが北葛北部医師会の協力により行われている。在宅介護についても、定期巡回・随時対応型訪

問介護看護の公募を行い、地域包括ケアシステムの構築を目指す。

（健康福祉部長）



県道惣新田幸手線の臨時対応は



巻島幸男議員

Q 12月の一般質問で県道惣新田幸手線の歩道と安全確保の質問をしたが、臨時対応として、グリーンベルトの表示や、横断歩道付近にポストフレックスを設置し安全を図りたい。今後学校や地域と連携し、安全対策を実施すると回答いただいた。

その後のこれらの進捗状況を

伺う。

A 市道1-23号線（旧県道惣新田幸手線）の臨時対応については、グリーンベルトとポストフレックスを平成28年度に設置するため、実施調査を行った。

現在の状況は、9月末までの施工完成を目指して準備している。

（市民生活部長）



市道1-23号線

幸手市の児童虐待の実態は



小林順一議員

Q 全国で児童虐待相談が増加している。児童虐待防止法施行前の平成11年の約1万2千件から平成25年の約7万4千件と約6.3倍と驚異的な増加で、ここに至る要因は様々にあるが、国の宝である子どもを命を守るため絶対に児童虐待を見逃さないでいただきたい。

幸手市の児童虐待相談数・虐待実態数を伺う。児童福祉司等の人数を伺う。住民からの通報の有無を伺う。児童保護の事例を伺う。保護に至るまでの幸手市のマニュアル整備を伺う。

A 幸手市福祉事務所で受付した児童虐待の実態数は、平成25年度は2件、平成26年度は1件、平成27年度は0件である。相談件数は、平成25年度は59件、平成26年度は57件、平成27年度は61件である。児童福祉

司等は在籍していない状況である。近隣の住民等からの通報は、平成25年度は9件、平成26年度は5件、平成27年度は3件である。児童保護の事例は父母からの身体的虐待であったが、緊急性は無いと判断された。対応マニュアルは整備済である。
(健康福祉部長)

東京オリンピックピックキャンプ地幸手市誘致



青木章議員

Q 2020年7月24日開会の第32回東京オリンピックが国立競技場を中心に行われる予定となっている。オリンピックに向けて多くの国が事前キャンプを日本で行う。そこで幸手市のグラウンドや体育館を使って、東京オリンピックの事前キャンプ地として立候補、誘致を行うてはいかがかと考える。幸手市

の青少年に夢を与える、とてもビッグチャンスと思う。幸手市の対応を伺う。

A 市内にはアスカル幸手や幸手総合公園内の陸上グラウンド等のスポーツ施設があり、合宿候補地として誘致について前向きに検討している。

それぞれの既存の施設、設備で誘致が可能となる体制について、どの程度の補修や準備等が必要となるかを検討していく。

また、「ベナン共和国のゾマホン特命全権大使」が事前合宿候補地の視察のために訪れており、今後もキャンプ誘致について積極的に対応していく。
(総務部長)



済生会栗橋病院加須市移転の影響と対策は



大平泰二議員

Q 以前、当市への補助金要請を断った経緯（加須市・久喜市は補助している）と

当市から通院・入院者数（国保）について。また、地域医療体制の強化と病院存続を願う市民への対応について市長の考えを伺う。

A

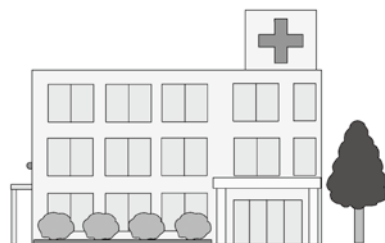
平成25年7月済生会栗橋病院から国の「公的病院等への助成に対する特別交付税措置」を利用した市補助金の要望があったが、特別交付税は、当該医療機関に補助したことにより、総額が大幅に増加しえるものとは考えにくいことから補助は見送った。

平成27年の国保レセプトでは、済生会栗橋病院へ通院3943件、入院397件である。

広域的な部分があることから、

近隣の自治体と相談しながら対応したい。

（市長・健康福祉部長）



さってアフタースクールが目指すべきは



松田雅代議員

Q 『さってアフタースクール』は今年度から市内全

小学校の4～6年生の希望者が利用可能となった（週2回・放課後4時～5時の1時間）。

放課後は子どもたちにとって正しく「課外」であり、自主的に過ごすところ担保されなければならぬ。放課後を真に豊かな子どもたちの群れる時間に

A

戻すことを目標として、今後の運営を考えるべきではないか。学力状況調査で「自分には良いところがある」と回答する子どもが増える取り組みを期待する。

子どもたちの放課後や家庭での過ごし方については、ゲームをする時間が長かったり、宿題を行う割合が低かったりと、憂慮すべき状況にある。

そこで、児童が放課後に学習支援を受けることのできる環境を

整備することは行政の責務であり、本事業によって身につけた学ぶ楽しさを家庭学習の習慣化と学力向上につなげたいと考えている。本事業は、様々な可能性をもった子どもたちの未来を切り拓くものであり、魅力ある教育環境の一つになると考えている。

（教育長・教育次長）

空き家条例制定後の現状と問題点、推進の考えは



小河原浩和議員

Q 全国で310万戸あると
言われている、管理が不
十分な空き家「特定空き家」の
幸手市における条例制定後の現
状と推移。市の対応と問題点。
今後の空き家対策の推進につい
て伺う。また、国が定めた「空
き家等対策の推進に関する特別
措置法」と照らし合わせて、幸
手市の空き家対策の推進につい

て、市の考え方を伺う。
平成24年度に実態調査を
行ったところ、268件
の空き家が把握された。その内
33件が管理されていない空き家
であり、17件が改善された。
市では、寄せられた苦情等に
対し、所有者に口頭や文書で助
言や指導を行っている。しかし、
所有者が不明な空き家に対して、
条例による応急措置を、2件実
施した。

A 平成24年度に実態調査を
行ったところ、268件
の空き家が把握された。その内
33件が管理されていない空き家
であり、17件が改善された。
市では、寄せられた苦情等に
対し、所有者に口頭や文書で助
言や指導を行っている。しかし、
所有者が不明な空き家に対して、
条例による応急措置を、2件実
施した。

管理不全な空き家の所有者に
対しては、引き続き改善の指導
を進め、必要に応じて特別措置
法による適切な対応を行う。
(市民生活部長)



県営権現堂2号公園の整備工事は



木村治夫議員

Q 4区域による県営権現堂
公園はすでに花の公園
(4号公園)、多目的運動広場
(1号公園)、万葉公園(3号
公園)が整備され、年間180
万人以上のお客様が来られてい
る。今年度から行幸湖西岸の面
積11.4haの2号公園が整備開始と
なるが、地元市民への周知はど
のように考えているか。また建

設内容について伺う。
平成28年3月に策定した幸手
市まち・ひと・しごと創生総
合戦略を踏まえ、街づくりや市
の経済効果を高める重要な公園
と考えるが、市の見解を伺う。

A 今年度より5年計画で整
備を進めていく予定とな
っており、地元への周知につい
ては、県へ要望していく。権現堂
2号公園は、県の防災拠点にな
ることから、臨時ヘリポート兼

避難広場のほか、管理棟、パー
ベキューが行えるデイキャンプ
場、幼児用遊具施設等を計画し
ているとのことである。
市の経済効果を高める重要な
施設と考えているので、今後、
想定される経済効果が有効に市
の活性化に繋げられるようにし
たい。
(建設経済部長)

駅西口土地区画整理事業の財源はどうなる



中村孝子議員

Q 橋上駅舎・自由通路・西口開設事業が、国の交付金

金が高い交付率の下で、3点セットで進められている。当事業が終わる平成31年度以降35年度までの資金計画によれば、区画整理事業の予算は以前の計画のやっと半分で、残りは45億円（一般財源は約その半分）となる。古川橋架替完了も1年延び、重

要事業も多々ある中で、区画整理の推進は自分の責務だと市長は言われている。では、予定の平成42年度完了を目指す中で、どんな財源をどう確保するのか市長に伺う。

A 事業の財源となる社会資本整備総合交付金について、

本整備総合交付金については、国・県の動向に注視して、より配分される可能性の高い交付金制度を積極的に活用する。また、建物を移転していただく

方のうち、仮住まいが必要な方の宅地造成を先に施し、仮住まい期間の短縮を図り、効率的な事業展開を行うことで事業費の削減に努める。

今後の経済・財政状況によっては、一般単独事業債による、さらなる財源確保について検討を加えることも視野に入れる。

（市長）

国庫支出金の減額に伴う事業と財政規律は



武藤壽男議員

Q 年度の開始日に、西口区画整理事業を含む自由通路、駅補償工事に対する社会資本整備総合交付金が55%から26%

%へと、大幅減額となったことが明らかとなる。

これにより、西口区画整理事業の約15億円に及ぶ事業費の減額と、古川橋の架け替え工事の期間延長などの資金計画が発表

されたが、市庁舎など公共施設の老朽化対策や、市民生活のための事業など山積する中で、東武に寄贈する駅舎事業は変更すべきでは。

また、赤字地方債の臨時財政対策債に頼る財政での財政規律は。

A 社会資本整備総合交付金の減額をうけ、駅舎事業を含めた重点プロジェクト事業の見直しおよび財政収支の予測

の変更を行った。

平成35年度までの財政収支の予測では、平成29年度から31年度までは、基金および一般単独事業債の活用をし、平成32年度以降は事業費の見直しをするこ

とで事業を実施できる試算である。市民の皆さんが安心して生活するために必要な事業は、今後

も財源の確保はもとより、財政規律を保ちながら必要なタイミングで実施していく。

（市長・総務部長）

建設経済常任委員会 所管事務調査を実施

平成28年5月13日(金)

建設経済常任委員会では、

- ① 駅舎関連事業
- ② 自由通路事業
- ③ 幸手駅西口土地区画整理事業

について所管事務調査を行いました。
まちづくり事業課長より、平成28年度社会資本整備総合交付金に係る内示額や駅舎関連事業・自由通路事業等の平成28年度事業スケジュール、幸手駅西口土地区画整理事業の平成28年度事業内容についての説明を受け、その後質疑および意見があり、それぞれ答弁がありました。

幸手市都市公園等指定管理業務 調査特別委員会

市議会では昨年9月より『幸手市都市公園等指定管理業務調査特別委員会』を設置し、平成26年度から業務委託をしている指定管理者の事業執行の状況を調査してきました。

第10回特別委員会では、3月に副市長によりとりまとめが約束された庁内検討委員会による業務改善に関する報告書の提示があり、説明を受けました。

第10回

開催日 平成28年6月15日(水)

調査・審議内容

- ・ 『指定管理者制度運用改善に係る検討結果報告書』(とりまとめ・幸手市指定管理者制度運用改善検討委員会)に基づく説明と質疑応答
- ・ 今後の進め方について



6月定例会 会期日程

- 6月1日(本会議)
 - ・ 開会会期の決定報告事項
 - ・ 市長提出議案(括上程、提案理由説明)
- 6月2日・3日・6日(本会議)
 - ・ 市政に対する一般質問
- 6月10日(本会議)
 - ・ 議案に対する質疑
 - ・ 議案の委員会付託
- 6月13日(委員会)
 - ・ 総務常任委員会
- 6月14日(委員会)
 - ・ 文教厚生常任委員会
- 6月15日(委員会)
 - ・ 建設経済常任委員会
- 6月24日(本会議)
 - ・ 委員長報告、質疑、討論、採決
- ・ 閉会

議事を傍聴しませんか

議会では日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定しています。ぜひ、傍聴にお出かけください。

6月定例会

傍聴者

34の方が傍聴されました。

議会インターネット中継のアクセス件数

インターネットを利用した議会中継(ライブ及び録画)を行っております。

4月	247件	5月	179件	6月	2390件
----	------	----	------	----	-------

の方が視聴されました。

9月定例会のお知らせ

9月1日開会予定です。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.city.satte.lg.jp/>

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ(インターネット映像配信システム)でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 6月定例会の会議録は9月上旬頃公開予定です。

平成28年6月定例会 提出された議案の結果

新風…新 公明党…公 改革…改 先進…先 自民クラブ…自 日本共産党…共 無所属…無 (○：賛成 ×：反対 退：退席)

(市長提出議案)

議案番号	議案名	議席番号・議員名															付託委員会	議決結果
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
議案第39号	専決処分の承認を求めることについて(専決第2号) 幸手市税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	賛成多数承認	
議案第40号	専決処分の承認を求めることについて(専決第3号) 幸手市都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	賛成多数承認	
議案第41号	専決処分の承認を求めることについて(専決第4号) 幸手市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員承認	
議案第42号	専決処分の承認を求めることについて(専決第5号) 平成27年度幸手市一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	賛成多数承認	
議案第43号	専決処分の承認を求めることについて(専決第6号) 平成27年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員承認	
議案第44号	専決処分の承認を求めることについて(専決第7号) 平成27年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	賛成多数承認	
議案第45号	専決処分の承認を求めることについて(専決第8号) 平成27年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員承認	
議案第46号	専決処分の承認を求めることについて(専決第9号) 平成27年度幸手市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員承認	
議案第47号	幸手市選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決	
議案第48号	幸手市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決	
議案第49号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決	
議案第50号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決	
議案第51号	平成28年度幸手市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決	

(議員提出議案)

決議案第1号	済生会栗橋病院の現行存続を求める決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
--------	--------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------

議会広報編集委員

- 委員長 手島幸成
- 副委員長 小林順一
- 委員 大平泰二
- 委員 木村治夫
- 委員 小林啓子
- 委員 本田謡子
- 委員 巻島幸男
- 委員 松田雅代
- 委員 武藤壽男

編集後記

アジサイの季節からいよいよ暑い季節となりました。今年になって熊本地震が発生したり、豪雨や土砂災害などの災害が続いています。一方で、利根川水系のダム貯水量が平年を大きく下回り、取水制限が実施されています。自然はなかなかうまくいかない実感しています。去年は、本市でも豪雨による水害がありましたが、内水の排水能力を超えた雨量であったものです。自然の災害が来ないことを祈ると共に、抜本的な対策も私たちの責任と思います。